

疾患既往歴と心理的苦痛の関連：ロジスティック回帰分析（大崎コホート研究 2006 の横断調査）

The association between self-reported history of physical diseases and psychological distress in a community-dwelling Japanese population: the Ohsaki Cohort 2006 Study

2013 年 European Journal of Public Health 発表

社会的支援（サポート）の有無にかかわらず、疾患既往者は心理的苦痛を有する

うつ病はわが国において寿命・健康ロスの大きな病気・障害（DALY 値＝7.0 年）のうち脳血管疾患に次いで 2 位を示し、重大な疾患として位置付けられています。疾患に罹患することにより、抑うつや心理的苦痛を呈することはよく知られていますが、多様な疾患による心理的苦痛の程度を検討した研究はありませんでした。

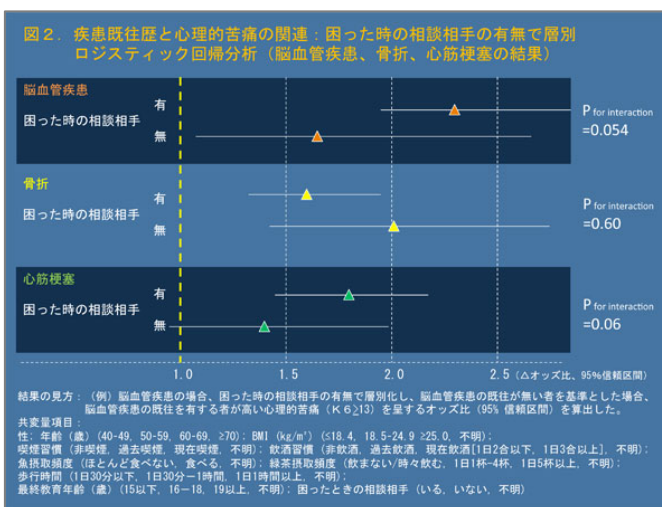
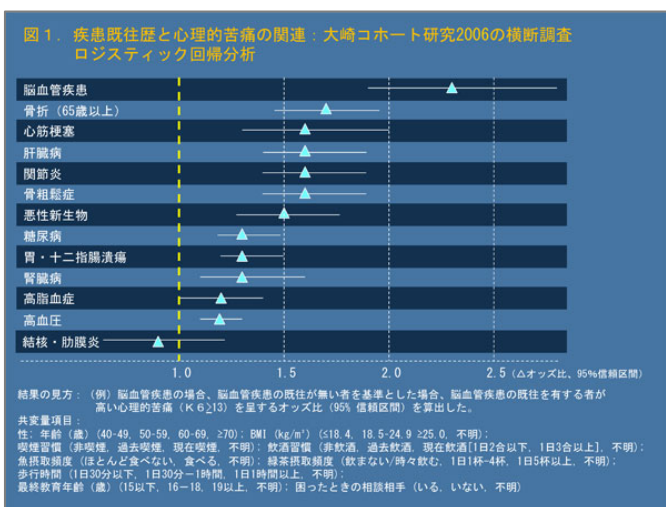
一方、社会的支援（サポート）を有することにより、心理的な健康が保たれることが多くの研究で報告されています。したがって、疾患既往者が社会的支援（サポート）を有することにより心理的苦痛の程度が軽減する可能性があります。そこで、本研究では以下の 2 点を検証しました。

- ① 疾患によって心理的苦痛の程度が変化するか
- ② 疾患既往者の心理的苦痛の程度は社会的支援（サポート）の有無により変化するか

結果として、

- ① 脳血管疾患、転倒・骨折、心筋梗塞、肝臓病、関節炎、骨粗鬆症、悪性新生物で高い心理的苦痛を有するオッズ比が 1.5 倍を超えていた。一方、結核・肋膜炎のみ心理的苦痛との有意な関連を示しませんでした（図 1）。
- ② ほとんどの疾患において、困った時の相談相手の有無にかかわらず、疾患を有する者は心理的苦痛を有していました（図 2）。

以上のことから、医療関係者は疾患治療が終了した者について、社会的支援（サポート）の有無にかかわらず、疾患既往者に対し心理的苦痛をモニタリングする必要があると考えます。



研究のデータについて

本研究の分析は 2006 年の 12 月に実施しました大崎市民健康調査を用いて行いました。大崎市民健康調査は 40 歳以上（当時）の住民 77,235 名を対象に実施したアンケート調査で、50,445 名から調査票を回収、49,855 名から有効回答を得ました。本研究ではこのうち、K6 に関する質問に完全回答した 43,487 名について分析を行いました。

疾患既往歴について

疾患既往歴は調査票における自己回答により調査し、13 疾患（結核・肋膜炎、悪性新生物、糖尿病、高脂血症、高血圧、心筋梗塞、脳血管疾患、胃・十二指腸潰瘍、肝臓病、関節炎、骨粗鬆症、腎臓病、転倒・骨折[65 歳以上]）としました。

K6について

K6は以下の6項目、1. 神経過敏に感じましたか、2. 絶望的だと感じましたか、3. そわそわ落ち着かなく感じましたか、4. 気分が沈みこんで、何が起ころうとも気が晴れないように感じましたか、5. 何をするのも骨折りだと感じましたか、6. 自分は価値のない人間だと感じましたか、に対し「いつも」「たいてい」「ときどき」「少しだけ」「まったく」の5段階で回答してもらい、それぞれに4, 3, 2, 1, 0点を加算（最大24点）することによって評価しています。先行研究に基づき、K6：13点以上を「心理的苦痛あり」と評価しました。

研究の特徴と限界について

本研究は、疾患既往歴と心理的苦痛の関連を大規模に調べた疫学研究でありました。

本研究結果から、

①脳血管疾患、転倒・骨折、心筋梗塞、肝臓病、関節炎、骨粗鬆症、悪性新生物を有する者で「心理的苦痛あり」と評価される者が多かった、②ほとんどの疾患では、困った時の相談相手の有無にかかわらず、慢性疾患を有する者は心理的苦痛を有していた、という2点が明らかになりました。

本研究の特徴は、大規模な調査での解析により、多様な疾患既往歴と心理的苦痛の関連を検討でき、また、性、年齢、BMI、喫煙習慣、飲酒習慣、魚摂取頻度、緑茶摂取頻度、歩行時間、最終教育年齢についても調整を行っており、これらの多くの要因について調整できたことも本研究の特徴といえると思います。

しかし、疾患既往歴と心理的苦痛の因果関係が不明な点、疾患既往歴「有」と回答した者の現在の疾患の状態（治療の有無、重症度、治療期間等）が不明な点が、研究の限界として挙げられます。

本研究から、医療関係者は疾患治療が終了した者を、社会的サポートの有無にかかわらず、継続して心理的苦痛をモニタリングする必要があると考えます。
